

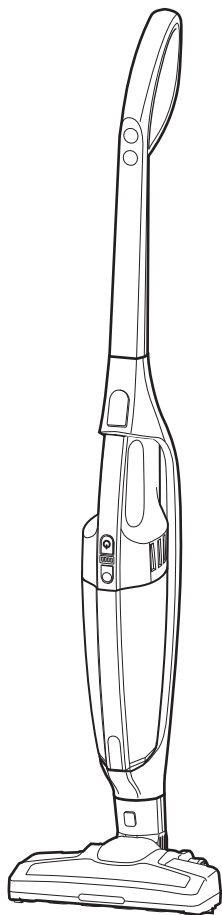
取扱説明書

AQUA

コードレス スティック クリーナー

家庭用 (業務用としては使用しないでください)

品番 AQC-ZX1N



もくじ

安全上のご注意	2~5
使用上のお願い	5
各部のなまえ	6~7
ご使用前の準備	8
充電のしかた	9
運転のしかた	10~11
ゴミの捨てかた	12~15
お手入れ	16~18
故障かな?と思ったとき	19~20
消耗品	20
製品(電池)の廃棄について	21
仕様	22
保証とアフターサービス	22
お客さまご相談窓口	23
保証書	裏表紙

このたびはお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
また本書は保証書も兼ねています。必ず、お買い上げ日・お客様名・販売店名などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

保証書付
(裏表紙)

日本国内専用
Use only in Japan

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害・財産の損害を防ぐために、お守りいただくことを説明しています。

- 表示の説明（取り扱いを誤った場合に生じる危害・損害の程度を示します）
- 図記号の説明

 危険	「死亡、または重傷を負う可能性が高い内容」を示します。		「危険」「警告」「注意」を促すことを示します。
 警告	「死亡、または重傷を負う可能性がある内容」を示します。		してはいけないこと「禁止」を示します。
 注意	「軽傷や物的損害が発生する可能性がある内容」を示します。		しなければならないこと「指示」を示します。

警告



指示

●異常・故障時にはすぐに使用を中止する

（火災・感電・けがの原因）

異常・故障例

- ・ 運転入・切ボタンを押しても運転しない。
- ・ ACアダプターやコードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・ 運転中、ときどき止まる。
- ・ 運転中、異常な音がる。
- ・ 本体が変形していたり、異常に熱い。
- ・ こげくさい臭いがする。

すぐに運転・充電を停止し、ACアダプターをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、またはお客さまご相談窓口にて点検・修理をご依頼ください。

●本製品は安全に使用できる環境下かつ安全な使いかたと危険性を理解している方の指示監督のもとで使用する

（けが・やけど・感電の原因）

特にお子様遊ぶことがないようにご注意ください。



禁止

●ACアダプターやコードが傷んだり、熱くなったときや、コンセントの差し込みがゆるい場合は使わない

（火災・感電・けが・ショートの原因）

ACアダプターは根元まで確実に差し込んでください。

●コードを傷付けない

（火災・感電・ショートの原因）

- ・ 加工しない
- ・ 熱器具に近づけない
- ・ 引っ張ったり、重いものをのせたり、はさんだりしない
- ・ 無理に曲げたり、ねじったり、束ねて通電したりしない

●専用のACアダプターは、AQC-ZX1N以外の充電式電池、または使い切り電池の充電などには使用しない

（液漏れ・発熱・発火・破裂・故障の原因）



禁止

●専用のACアダプター以外は使用しない

（火災・感電・故障の原因）

●本体の各端子間を金属などで接続しない

（感電・ショート・発火・故障の原因）



指示

●電源は交流100Vのコンセントを使用する

（火災・感電の原因）

●ACアダプターは根元まで確実に差し込む

（感電や発熱による火災の原因）

●ACアダプターの刃や刃の取り付け面にホコリが付いた場合は、乾いた布で拭き取る

（ACアダプターにホコリがたまると、湿気などで、絶縁不良による火災の原因となります）

警告



指示

- お手入れをするとき、点検をするときは、必ず運転・充電を停止し、ACアダプターをコンセントから抜く
(感電・けがの原因)



禁止

- ぬれた手でACアダプターを抜き差ししない
(感電・けがの原因)



禁止

- 幼児の手の届くところには置かない
(事故・感電・けがの原因)
- 高温の場所(火やストーブのそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)やホコリの多い場所、油煙の当たる場所で使用・保管しない
(発熱・発煙・破裂・発火・故障の原因)



禁止

- 本体やACアダプターを落としたり、強い衝撃を与えたりしない
(感電・発熱・火災・故障の原因)



禁止

- ACアダプターの上に可燃物をのせたり、覆ったりしない。また、熱のこもる場所で使用しない
(異常発熱・発火・火災・故障の原因)



禁止

- 水洗いや、風呂場・屋外では使用しない(水洗いできる部品を除く)
(ショート・感電・故障の原因)
- 浴室の近くなど湿気の多いところや、水にぬれる場所で充電・使用しない
(感電・発火・異常発熱・故障の原因)
- ぬれている部品(ダストカップ・フィルター・ノズル・回転ブラシなど)は使用しない
(感電・発火・故障の原因)



禁止

- 次のようなものは、絶対に吸わない
(火災・感電の原因)
 - ・アルミニウム、マグネシウム、チタン、亜鉛などの爆発性粉じん
 - ・ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料などの引火性のものや、水、油、薬品などの液体
 - ・たばこの吸いから、灰などの高温のものや、高速切断機、グラインダー、溶接機などから発生する火花を含む粉じん
 - ・石こう、セメントなどの粉じん
 - ・鉄粉、カーボンなどの可燃性、導電性粉じん
 - ・ガラス、ピン、針、つまようじなどの鋭利なもの
 - ・ペットなどの排泄物が付着したもの
- ダストカップを外したまま運転しない
(事故・故障の原因)



禁止

- 充電完了直後は、本体や充電台の充電端子には触れない
(やけどの原因)
- 運転中はパワーブラシの回転ブラシや本体の吸込口、排気口には触れない
(けがの原因)
特にお子様にはご注意ください。



禁止

- 改造はしない。また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
(火災・感電・けがの原因)
修理は、お買い上げの販売店またはお客さまご相談窓口にご相談ください。
- 本体の排気口やすき間に指や金属物・異物を入れない
(感電・けが・故障の原因)
- 可燃性の液体・ガス・粉塵のある場所で使用しない
(発火・爆発の原因)

注意



禁止

- 火気に近づけない
(本体が変形し、ショート・発火・故障の原因)
- 人やペットに向けて使用しない
(けが・事故の原因)



指示

- フィルターを必ず取り付ける
(火災・故障の原因)
純正のフィルターを正しく取り付けないと、モーターや電気部品の発熱・発火・故障・異常音・吸引力低下の原因となります。

⚠ 注意



禁止

- 充電台やACアダプターに液体を付着させない

(感電・ショート・過熱による変形・発火・故障の原因)

- 吸込口をふさいで長時間運転しない

(過熱による本体の変形・発火・故障の原因)

- 排気口はふさがない

(過熱による本体の変形・発火・故障の原因)



指示

- ACアダプターを抜くときは、コードを持たずに必ずACアダプターを持って引き抜く

(感電やショートによる発火の原因)



指示

- 長時間使わないときは、ACアダプターをコンセントから抜く

(絶縁劣化による火災・感電の原因)



禁止

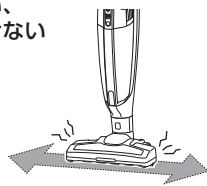
- 大きなゴミを吸込ませない

(過熱による本体の変形・発火・故障の原因)
お菓子やたばこの包み紙など(フィルム状のようなもの)を吸わせると、ダストカップ内部に詰まり、ゴミを吸わなくなったり、ゴミ漏れのおそれがあります。

- スティッククリーナーとして自立させない

転倒により、けがや故障・破損のおそれがあります。

- パワーブラシを横方向に引きずらない、強く押しつけない



電池(ハンディボディに内蔵)について

⚠ 危険



禁止

- 端子同士を金属類で接続しない。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しない

(液漏れ・発熱・発火・破裂の原因)

- 専用のACアダプター以外使用しない。

(液漏れ・発熱・発火・破裂・故障の原因)

- 火の中に投入したり、加熱しない

(液漏れ・発熱・発火・破裂の原因)



禁止

- 電池を分解・改造しない

(液漏れ・発熱・発火・感電・破裂の原因)
液漏れ・破裂・過電流や充電制御ができなくなり、たいへん危険ですのでおやめください。



指示

- 電池の内部から漏れた液が目に入った場合、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。

(目に障害を与える原因)

⚠ 警告



禁止

- 電池の液漏れ・変色・変形・その他、今までと異なることに気付いたときは使用しない

(発熱・発煙・破裂・発火の原因)

- 電池を落下させたり衝撃を与えない

(液漏れ・発熱・発火・破裂・故障の原因)

- 幼児の手の届くところには置かない

(事故・感電・けがの原因)



禁止

- 電池に水や海水をかけたり、水中に入れたりしない

(液漏れ・発熱・発火・破裂・故障の原因)



指示

- 電池の内部から漏れた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流す

(皮膚がかぶれたりする原因)

警告



禁止

- ぬれた手で電池を触らない
(発熱・発火・感電・故障の原因)



禁止

- 電池は普通のゴミと一緒に捨てない
(発火・環境破壊の原因)
製品の廃棄について、詳しくは 21 ページをご参照ください。

注意



指示

- 本体が異常に熱くなっている場合、冷えるまで待ってから交換する
(やけどの原因)
- 室温が約5~35℃の環境で充電する
正しく充電されず、充電時間が長くなる場合があります。また、電池劣化の原因となります。



指示

- 所定の充電時間を大幅に超えても充電が完了しない場合は、ACアダプターをコンセントから抜き、お客さまご相談窓口にご相談ください。

使用上のお願い

本製品を快適、安全にご使用いただくため、以下の注意事項をよくお読みください。

電池(ハンディボディに内蔵)について

- 充電中は本体やACアダプターが熱くなりますが、異常ではありません。
- 初めてご使用になるときや長時間使用しなかった場合は、電池が過放電になっていて、使用時間が短くなる場合があります。ご使用前に必ず充電してください。
- 電池のリサイクルにご協力ください。電池はリサイクル可能な貴重な資源です。「製品(電池)の廃棄について(21ページ)」をご参照ください。

使いかたについて

- フィルターやダストカップ部は必ず取り付けてご使用ください。
- 2WAYノズルを取り付けるときは、運転を停止してから行ってください。
- 使用するときは、パワーブラシまたは2WAYノズルを取り付けて使用してください。取り付けずにお掃除をすると、本体やハンディユニットの先端が摩耗し、接触不良や破損の原因となります。
- 充電中は運転できません。
- 運転中は吸込口、排気口をふさがないでください。
- 大きめの紙片や包装用フィルムなどは、お掃除の前にあらかじめ拾っておいてください。吸込口通路やダストカップ内部に詰まる場合があります。
- ピアノなどの光沢のあるところでは使用しないでください。傷が付くおそれがあります。
- ゴミは、ダストカップのゴミ捨て目印(MAXライン)を超える前に捨ててください。
- スティック本体やハンディユニットを持ち運ぶときは、ハンドルを持って持ち運んでください。
- ご使用中に本体があたたくかくなりますが、制御回路に電流が流れたり、モーターの動作による熱によるもので、異常ではありません。
- ACアダプターのコードの破損やヒューズの溶断などは修理できません。お買い上げの販売店で新しいACアダプターをお買い求めください。
- お手入れを行うときは、必ず運転・充電を停止し、各部が冷えてから行ってください。

各部のなまえ

本体

ハンディユニット

操作部

運転入・切ボタン

電池残量ランプ

ダストカップ
取り外しボタン

ハンドル

ハンディボディ

排気口(左右)

吸気口

フィルター

消耗品

サイクロン

カップ

ダストカバー

ダストカップ

ゴミ捨てボタン

吸気口

背面

接続端子

ダストカップ部

スティック本体

ハンドル

運転入・切ボタン

運転切替ボタン

ハンドル部

取り付けネジ

※梱包時は、本体に取り付けてあります。

組み立てかた

8ページ

ハンディユニット
取り外しボタン

ハンディユニット

接続端子

本体

取り付けかた

8ページ

接続のしかた

8ページ

接続端子

パワーブラシ
取り外しボタン

運転中ランプ
(左記参照)

パワーブラシ

LEDライト
(左記参照)

運転中ランプ・LEDライトの表示について

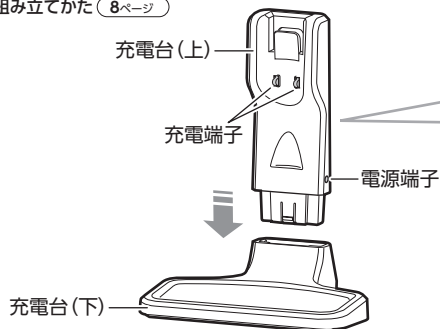
パワーブラシの運転中ランプ・LEDライトが運転の状態を下記のようにお知らせします。

運転の状態	運転中ランプ	LEDライト
正常運転時	点灯	点灯
パワーブラシが床から離れると	消灯	消灯
異常時	消灯	消灯

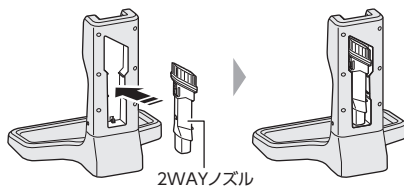
付属品

充電台

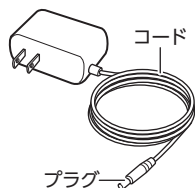
組み立てかた 8ページ



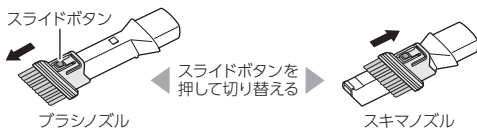
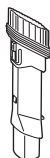
●2WAYノズルを使用しないときは、充電台の背面に収納してください。



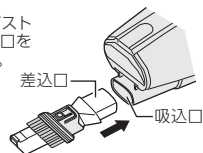
ACアダプター



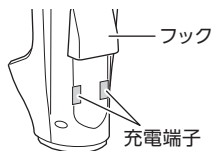
2WAYノズル



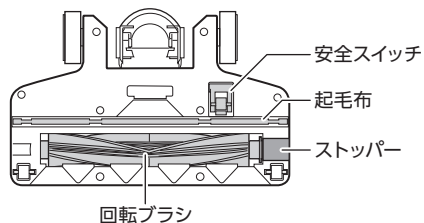
●取り付けるときは、ダストカップの吸込口に差込口をしっかりと差し込みます。



本体(背面)



パワーブラシ(裏面)



ご使用前の準備

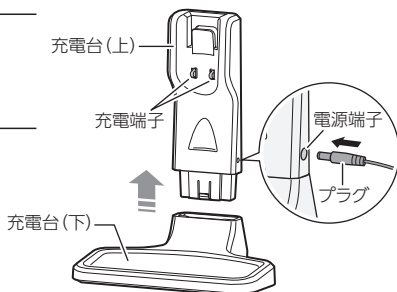
*初めてご使用になるときは、以下の方法で組み立ててからご使用ください。

充電台の組み立てかた

- ご使用の前に、付属の充電台を組み立ててください。また、充電するときは、必ず付属の充電台にセットして充電してください。

1 充電台(下)を充電台(上)に差し込む

- ※“カチツ”と音がするまで確実に差し込んでください。
- ※コードを挟み込まないように注意してください。



2 ACアダプターのプラグを充電台の電源端子に接続する

ご注意

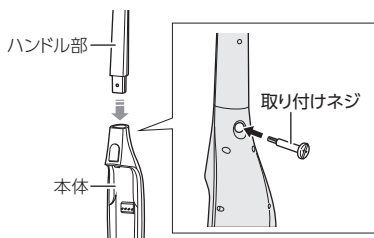
- 充電台は、安定した水平な床の上に設置してください。
- 外すときは、充電台(上)を上向きに引き抜いてください。

スティック本体の組み立てかた

- スティック本体を組み立てて、パワーブラシを接続します。

1 スティックのハンドル部を本体に差し込み、取り付けネジで固定する

- ※ドライバーなどを使用し、取り付けネジで確実に固定してください。



2 パワーブラシを本体に取り付ける

- ※スティックを充電台にセットするときは、必ずパワーブラシを接続してください。転倒してけが・故障の原因となります。



ハンディユニットの取り付けかた・取り外しかた

※ハンディユニットの取り付け・取り外しは運転を停止してから行ってください。

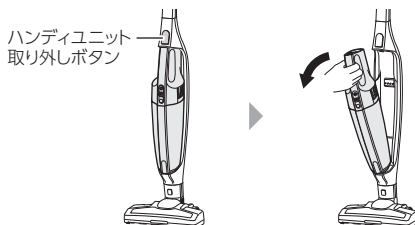
取り付けかた

- ①ハンディユニットの吸込口側を本体に差し込む
- ②ハンドルを“カチツ”と音がするまで確実に押し込む



取り外しかた

ハンディユニット取り外しボタンを押して、手前に取り外す



充電のしかた

*充電の目安は約4時間です。(充電時間は温度や電池の状態により若干のバラつきがあります)
※初めてご使用になるときや、電池残量がないときは4時間以上充電する場合があります。

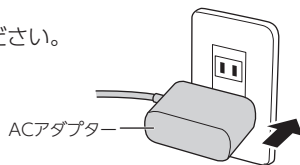
⚠ 注意

- 室温が約5~35℃の環境で充電してください。
- 所定の充電時間を大幅に超えても充電が完了しない場合は、ACアダプターをコンセントから抜き、お客さまご相談窓口にご相談ください。
- ACアダプターのコードを充電台や本体に巻きつけたり、束ねたりしないでください。発火・火災・事故の原因となります。

1 ACアダプターをコンセントに差し込む

※充電台を組み立ててからコンセントに差し込んでください。

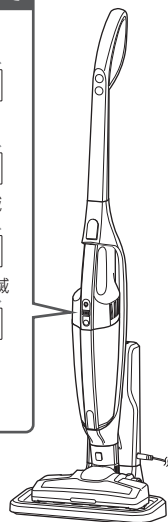
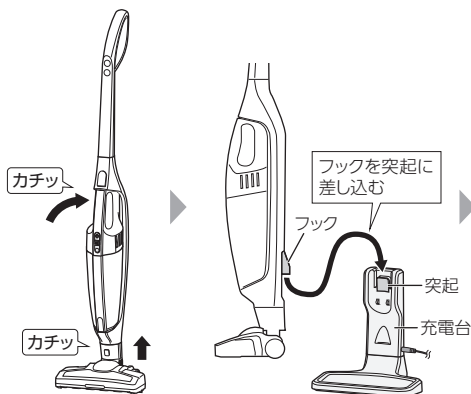
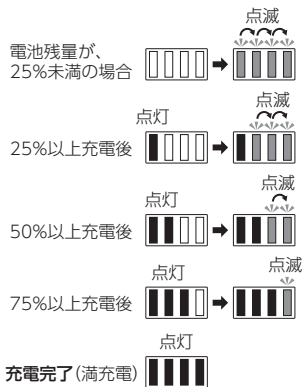
8ページ



2 ハンディユニットとパワーブラシを本体に取り付け、スティック本体を充電台にセットする

- 電池残量ランプが青点滅 (青点灯) し、充電が開始されます。
 - 電池残量ランプがすべて青点灯に切り替わると充電完了です。
- ※ハンディユニット単体での充電はできません。

充電中の電池残量ランプ表示について



お願い

- 本体や充電端子に触れないでください。充電完了直後は熱くなりますが、異常ではありません。
- 約2か月に1回は満充電になるまで充電してください。電池残量のない状態で保管すると電池の性能や寿命の低下の原因となります。
- 本製品を長時間使用しないときは、ACアダプターをコンセントから抜いて保管してください。

お知らせ

- 充電中は、運転できません。
- 充電中は、本体やACアダプターが熱くなりますが、異常ではありません。

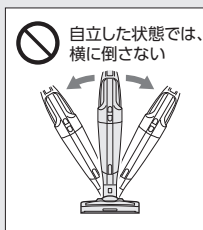
運転のしかた

*連続運転時間は約60分間です。(新品、満充電、「標準」運転時。「強」運転時は約20分間)

*電池の容量は徐々に減少しますので、連続運転時間は短くなっていきます。

ご注意

- 運転中はスティック本体から手を離さないでください。スティック本体が転倒し、けがや故障、破損の原因となります。
 - スティック本体を自立して放置しないでください。転倒のおそれがあります。
 - 運転中は必ずダストカップ部を取り付けてご使用ください。また、運転中はダストカップ部を取り外さないでください。
 - 異物を吸込んだときはすぐに運転を停止してください。
 - フィルターが目詰まりした状態で使用し続けると、故障の原因となります。定期的にお手入れを行ってください。(17ページ)
 - 自立させて保管する場合は、必ず付属の充電台にセットしてください。
- 立たた状態でスティック本体だけを横に倒さないでください。(パワープラシの破損の原因)



スティッククリーナーでお掃除する

掃除を始める

ハンドルを持ち、電源入・切ボタンを押す

- モーターが回転し、吸引力「強」で運転を開始します。
- 運転中は電池残量ランプが点灯し、電池の残量を表示します。運転中に電池残量が少なくなると、電池残量ランプが赤点灯します。早めに充電してください。「充電のしかた(9ページ)」参照

※充電中は運転できません。

吸込力を切り替える

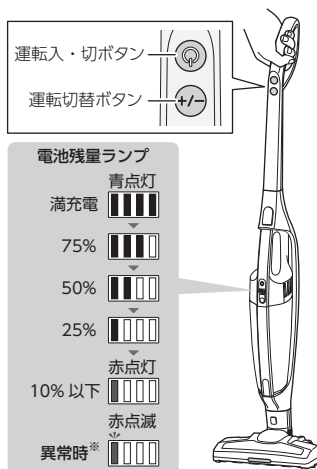
運転切替ボタンを押す

- 押すたびに「強」と「標準」が切り換わります。
- ※運転開始の吸引力は「強」です。

掃除を終わる

電源入・切ボタンを押す

- 電池残量ランプが消灯し、運転が停止します。
- ※電池残量が少ない場合は充電してください。「充電のしかた(9ページ)」参照



※ご使用中に異常が生じたときは、「故障かな?と思ったとき(19~20ページ)」をご参照ください。

ハンディクリーナーでお掃除する

掃除を始める

ハンドルを持ち、電源入・切ボタンを押す

- モーターが回転し、吸引力「強」で運転を開始します。
- 運転中は電池残量ランプが点灯し、電池の残量を表示します。運転中に電池残量が少なくなると、電池残量ランプが赤点灯します。早めに充電してください。「充電のしかた(9ページ)」参照

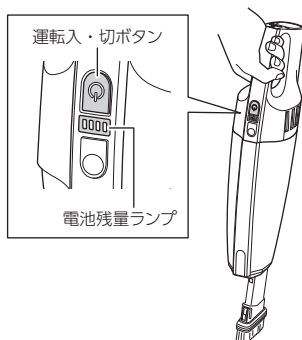
※充電中は運転できません。

※使用するときは必ず2WAYノズルを取り付けて使用してください。

掃除を終わる

電源入・切ボタンを押す

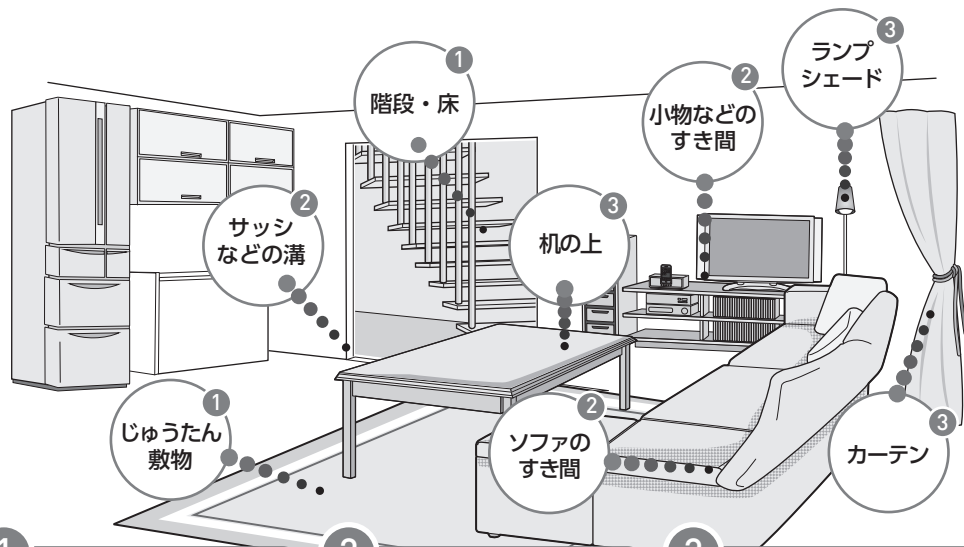
- 電池残量ランプが消灯し、運転が停止します。
- ※電池残量が少ない場合は充電してください。「充電のしかた(9ページ)」参照



場所に合わせしてお掃除をする

お願い

- 大きめの紙片や包装用フィルムなどは、お掃除の前にあらかじめ拾って置いてください。吸込口通路やダストカップ内部に詰まる場合があります。
- 水などの液体を吸わせないでください。故障や感電、火災のおそれがあります。
- 掃除するときは軽くゆっくり動かしてください。強く押しつけると床面や家具に傷をつける原因となります。



1

パワーブラシ

マット、じゅうたんなど
「強」運転

毛足の長いじゅうたんの
場合、回転ブラシが止まる
場合があります。



床、階段、畳など
「標準」運転

畳・フローリングは、
目に沿って軽くすべ
らせてください。



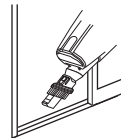
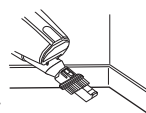
ソファの下などの暗い場所では、
パワーヘッドのLEDライトが便利です。

2

スキマノズル

部屋のすみ、
家具、小物など
のすき間

床などには強く押し
付けしないでくださ
い。傷が付くお
それがあります。



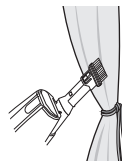
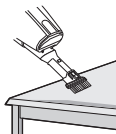
サッシの溝など
溝に沿ってすべ
らせてください。
吸込口が狭いの
で大きなゴミは
手で取り除いてく
ださい。

3

ブラシノズル

テーブルや
机の上、小物など

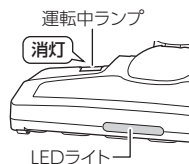
小物などには強く
押し付けしないで
ください。傷が付
くおそれがあります。



カーテンや
ランプシェードなど
カーテンなどの布
類をお掃除する際
はブラシのお手入
れを行ってからご
使用ください。

回転部の安全機能について

- パワーブラシの回転部に糸などがからみ付いたり、パワーブラシが床から離れると、**回転部ロック保護機能**のはたらきにより回転部が停止します。回転部ロック保護機能がはたらくと、運転中ランプが消灯します。(LEDライトについては6ページをご参照ください。)
- ※ 回転部ロック保護機能を解除する場合は、パワーブラシを床に下ろすか、糸などがからみ付いた場合は一度運転を停止し、糸がらみなどを取り除いてから再度運転を開始してください。(18ページ)
- ※ 回転部ロック保護機能がはたらいても、吸引運転は継続します。



ゴミの捨てかた

*お掃除が終わったらこまめにゴミを捨ててください。

ご注意

- ゴミを捨てるときは、必ず運転を停止した状態で行ってください。
- ゴミは、ダストカップのゴミ捨て目印(MAXライン)を超える前に捨ててください。
- フィルターが目詰まりした状態で使用し続けると、故障の原因となります。

定期的にお手入れを行ってください。(16ページ)
※ ゴミの溜まりかたはゴミの種類によって異なります。



ダストカップを取り付けたままゴミを捨てる場合

少ないゴミや大きめのゴミなどをワンプッシュで捨てるときは、ダストカップを取り付けたままゴミを捨てるができます。

※ゴミやホコリが取れないときは、ダストカップを取り外してゴミを取り除いてください。

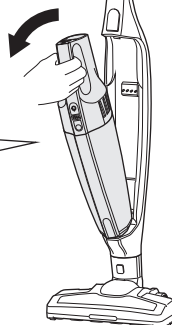
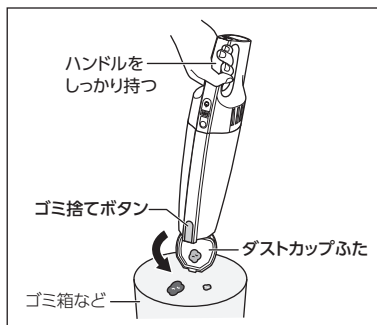
※汚れが気になるときやホコリなどが取れない場合は、ダストカップを取り外してゴミを捨てるか、お手入れを行ってください。(16ページ)

1 ハンディユニットを本体から取り外す

- ハンディユニット取り外しかたは、8ページをご参照ください。

2 ゴミ箱などで、ゴミ捨てボタンを押す

- ダストカップふたが開き、ゴミが落ちます。
- ※新聞紙を敷くなど、ゴミの飛び散りに注意して捨ててください。



3 ダストカップふたを閉じる

- “カチッ”と音がするまで確実に閉じてください。



ダストカップを取り外してゴミを捨てる場合

ダストカップ内部に付着したゴミやホコリ、引っ掛かった髪の毛などを取り除くときはダストカップを取り外してゴミを捨ててください。

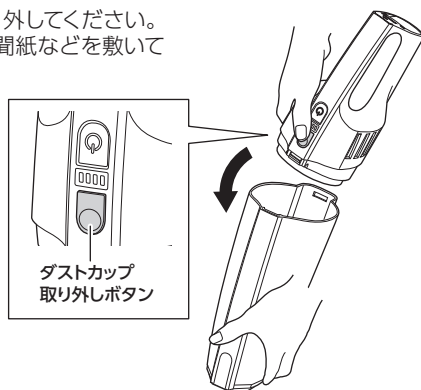
※汚れが気になるときや、ホコリなどが取れない場合はお手入れを行ってください。(16ページ)

1 ハンディユニットを本体から取り外す

- ハンディユニット取り外しかたは、8ページをご参照ください。

2 ダストカップ部をハンディボディから取り外す

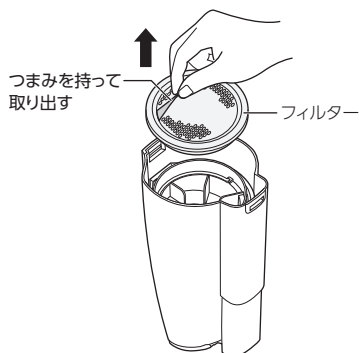
- ダストカップ取り外しボタンを押して取り外してください。
- ※ゴミが飛び散る場合がありますので、新聞紙などを敷いて取り外してください。



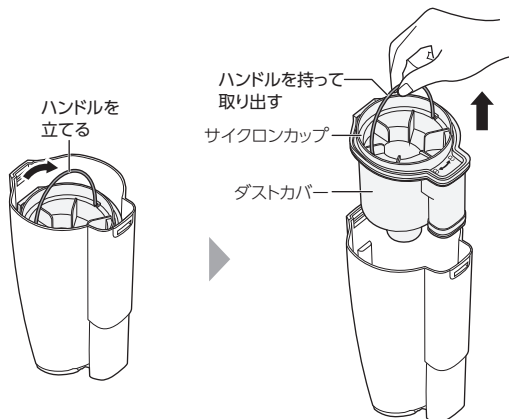
3 ダストカップからフィルター・サイクロンカップ・ダストカバーを取り出す

- ※フィルターを傷つけないようご注意ください。

①フィルターを取り出す



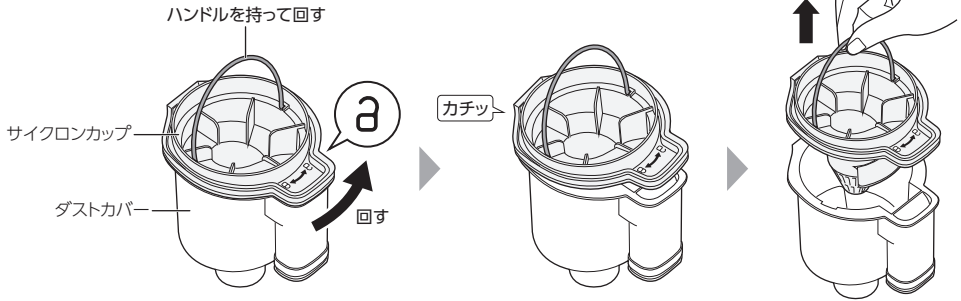
②サイクロンカップとダストカバーを取り出す



ゴミの捨てかた(つづき)

4 サイクロンカップを取り外す

- サイクロンカップのハンドルを持ち、「a(ロック解除)」方向に回して取り外してください。



5 各部品に付着したホコリやゴミを取り除く

- ※汚れが気になるときやフィルターに付着したゴミを取り除くときは、お手入れを行ってください。

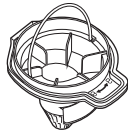
16ページ

フィルター

消耗品 (20ページ)



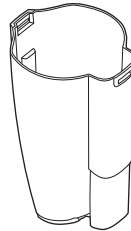
サイクロンカップ



ダストカバー



ダストカップ



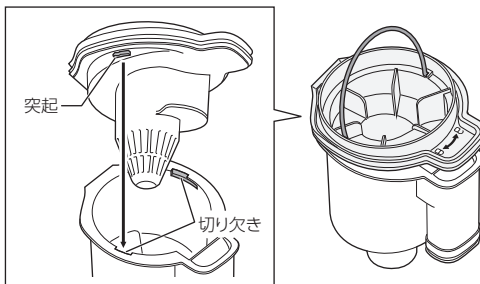
ご注意

- ・濡れたまま各部品を取り付けしないでください。
感電・発火・故障の原因となります。

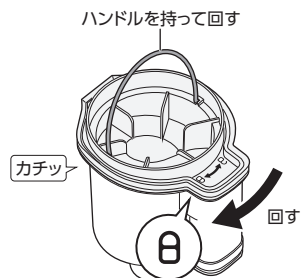
6 サイクロンカップをダストカバーに取り付ける

- ※各部品の組み立ては、取り外しかたと反対の手順で組み立ててください。

①突起(2カ所)を切り欠きに合わせてはめ込む



②ハンドルを持ち、サイクロンカップを「b(ロック)」方向に“カチッ”と音がするまで回す



7

サイクロンカップ・ダストカバーをダストカップに取り付ける

※フィルターを傷つけないようにご注意ください。

①サイクロンカップ・ダストカバーをダストカップに取り付ける



②ハンドルを倒し、フィルターをサイクロンカップにはめ込む

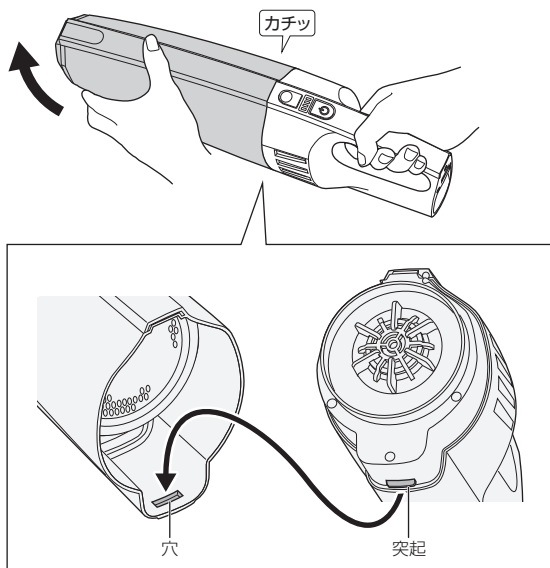


8

ダストカップ部をハンディボディに取り付ける

※本体の突起をダストカップの穴に合わせて差し込み、「カチッ」と音がするまで確実に取り付けてください。

※フィルターは必ず取り付けてください。



お手入れ




警告

・お手入れを行うときは、必ずACアダプターをコンセントから抜き、運転・充電を停止してから行ってください。

ご注意

・シンナー・ベンジン・アルコール・漂白剤・研磨剤入り洗剤などは使わないでください。変質、変色の原因となります。

・  このアイコン表示がある部品は、絶対に水洗いや水拭きをしないでください。

*お手入れはこまめに行ってください。

スティック本体・充電台・ACアダプター (お手入れの目安: 吸引力の低下や汚れが気になるとき)

本体の吸込口に付着したホコリや汚れを取り除く

●ホコリやゴミが付着したまま使用すると吸込力の低下や、故障の原因となります。

スティック本体の表面や各端子に付いた汚れを乾いた柔らかい布で拭き取る

●接続端子や充電端子にホコリがたまると、湿気などで、絶縁不良による火災の原因となります。

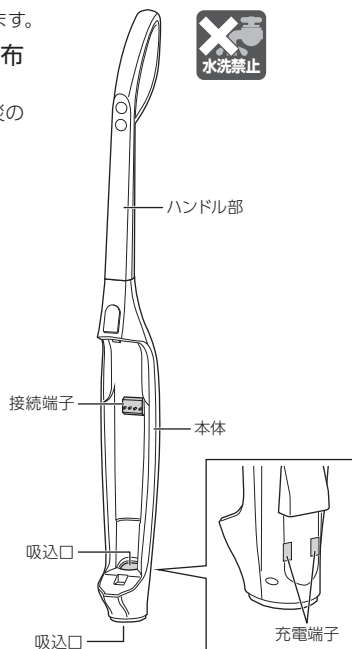
充電台の表面や各端子に付いた汚れを乾いた柔らかい布で拭き取る

●電源端子や充電端子にホコリがたまると、湿気などで、絶縁不良による火災の原因となります。

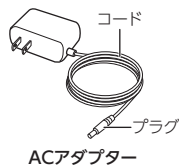
ACアダプターの刃や刃の取り付け面、プラグにホコリが付いた場合は、乾いた布で拭き取る

●ACアダプターの刃やプラグにホコリがたまると、湿気などで、絶縁不良による火災の原因となります。

スティック本体



充電台

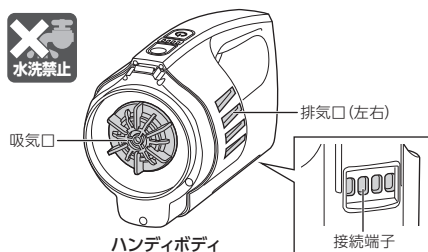


ACアダプター

ハンディボディ (お手入れの目安: 吸引力の低下や汚れが気になるとき)

表面の汚れを乾いた柔らかい布で拭き取り、吸気口・排気口・接続端子に付着したホコリや汚れを取り除く

●吸気口・排気口についたホコリやゴミは取り除いてください。ホコリやゴミが付着したまま使用すると故障の原因となります。
●接続端子にホコリがたまると、湿気などで、絶縁不良による火災の原因となります。



ダストカップ部 (お手入れの目安：ゴミや汚れが溜まったとき)

ダストカップ部を取り外し、吸込口や内部に溜まったゴミやホコリを取り除く
付着した汚れが落ちにくいときは、水洗いをする

- ダストカップ部の取り外しかた・取り付けかたは、13～15ページをご参照ください。
- フィルターの汚れがひどいときは水洗いをし、十分に乾燥させてください。

ご注意

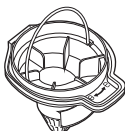
- 運転中にダストカップ部を取り外さないでください。ゴミが飛び散ったり、けがや故障の原因となります。
- 水洗いしたあとは、水をよく切って十分に陰干ししてください。濡れたまま使用すると、感電・発火・故障の原因となります。
- 直射日光のあたる場所や、ドライヤーなどで乾燥しないでください。



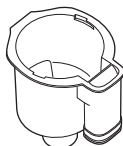
フィルター
消耗品



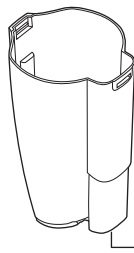
サイクロンカップ



ダストカパー



ダストカップ



吸込口

※フィルターは消耗品です。
お手入れをしても吸引力が
弱くなってきたら交換して
ください。(20ページ)
(保証期間内でも有料です)

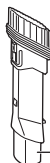
2WAYノズル (お手入れの目安：吸引力の低下や汚れが気になるとき)

水または水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を固くしぼって拭いたあと、洗剤を拭き取る
汚れが落ちにくいときは、水洗いをする

- ホコリやゴミが付着したまま使用すると吸込力の低下や、故障の原因となります。

ご注意

- 水洗いしたあとは、水をよく切って十分に陰干ししてください。濡れたまま使用すると、感電・発火・故障の原因となります。
特に、2WAYノズルの差込口は十分に陰干ししてください。
- 直射日光のあたる場所や、ドライヤーなどで乾燥しないでください。



差込口

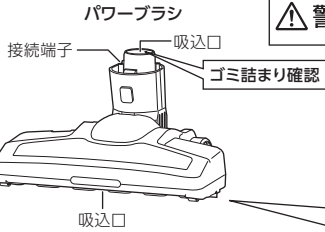
2WAYノズル

お手入れ(つづき)

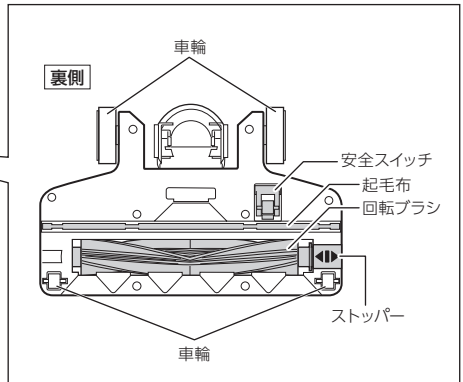
パワーブラシ (お手入れの目安: 吸引力の低下や毛ゴミがからみ付いたとき、汚れが気になるとき)

表面や吸込口・接続端子に付いた汚れを乾いた柔らかい布で拭き取る

- パワーブラシ内部にゴミが詰まったり、回転ブラシにゴミや糸などが巻きついた場合は下記を参考に回転ブラシを取り外し、お手入れを行ってください。
 - 起毛布に付着したホコリや汚れを取り除いてください。
 - 車輪、安全スイッチにゴミや髪の毛がからみ付いた場合は、ピンセットやハサミなどを使い、取り除いてください。
- ※車輪が摩耗していると床面を傷つけることがあります。



- 運転中はパワーブラシの回転部に触れないでください。けがや故障の原因となります。



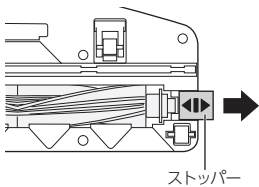
ご注意

- 回転ブラシを取り外し、風路内に詰まったゴミを取り除いてください。特にシュレッダーで裁断したゴミや大きなかたまりのゴミは詰まりやすいのでご注意ください。

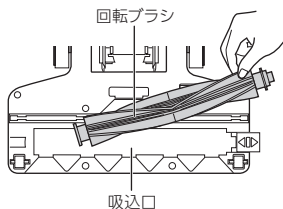


回転ブラシの取り外しかた

- ① ストッパーをスライドさせる

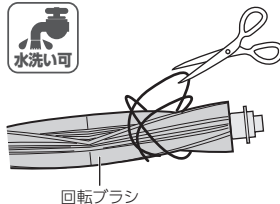


- ② 回転ブラシを取り外す



回転ブラシのお手入れのしかた

- 回転ブラシにからみついた糸くずなどは、パワーブラシから取り外したあと、はさみなどで取り除く
- 汚れが落ちにくい場合は、水洗いをする

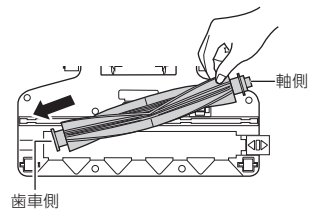


ご注意

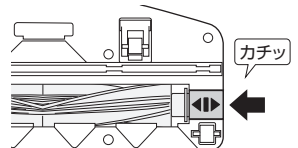
- 水洗いしたあとは、水をよく切って十分に陰干ししてください。濡れたまま使用すると、感電・発火・故障の原因となります。
- 直射日光のあたる場所や、ドライヤーなどで乾燥しないでください。

回転ブラシの取り付けかた

- ① 回転ブラシの向き(歯車側/軸側)を確認して取り付ける



- ② ストッパーを“カチッ”と音がするまでスライドさせてロックする



故障かな？と思ったとき

ご使用中に異常が生じたときは、まず次の点をお調べください。

こんなとき	お調べいただくこと	参照ページ
運転しない または 運転中に止まる	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体が異常に熱くなっていますか。 →電池の温度が高くなったときは、電池の過熱を防ぐため、本体が自動的に停止することがあります。ダストカップのゴミを捨て、本体が冷めてから、再び運転してください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> ● 充電台にセットされていませんか。 →充電台から取り外してください。 	9・10
	<ul style="list-style-type: none"> ● ハンディユニットが正しくセットされていますか。 →ハンディユニットを本体に“カチッ”と音がするまで確実に取り付けてください。 	8
	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池が少なくなっていますか。 →充電してください。 	9
	<ul style="list-style-type: none"> ● 吸込口に異物が詰まっていますか。 →異物を取り除いてください。 	16・17
運転中に運転中ランプが 消灯する（運転は継続）	<ul style="list-style-type: none"> ● 回転ブラシの軸部に髪の毛やごみがからんでいませんか。 →からだ髪の毛やごみをはさみなどを使い取り除いてください。 	6・11・18
充電ができない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池の寿命ではありませんか。 →お買い上げの販売店またはお客さまご相談窓口にご相談ください。 	23
	<ul style="list-style-type: none"> ● 専用の充電台、ACアダプターを使っていますか。 →専用の充電台、ACアダプターを使ってください。 	6
	<ul style="list-style-type: none"> ● 充電台に正しくセットされていますか。 →ACアダプターがコンセントにしっかり差し込まれているか、ACアダプターのプラグが充電台の電源端子にしっかり差し込まれているか確認してください。 	8・9
	<ul style="list-style-type: none"> ● ハンディユニットが正しくセットされていますか。 →ハンディユニットを本体に“カチッ”と音がするまで確実に取り付けてください。 	8
	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体と充電台、またはハンディボディと本体の各端子に異物が付着していませんか。 →お手入れしてください。 	16
充電満量だが 運転時間が短い	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池の寿命ではありませんか。 →お買い上げの販売店またはお客さまご相談窓口にご相談ください。 	23
	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池が過放電になっていませんか。 →本体が停止するまで運転し、充電することを2～3回繰り返してください。 	5・9
本体や充電台、 ACアダプターがあたたかい	<ul style="list-style-type: none"> ● 制御回路に電流が流れたり、モーターの動作による熱です。 （異常ではありません。） 	5
運転音が大きくなった 大きな音がる	<ul style="list-style-type: none"> ● 吸込口またはダストカップやパワープラシ内部に異物が詰まっていますか。 →異物を取り除いてください。 	16・17
	<ul style="list-style-type: none"> ● ダストカップがゴミでいっぱいになっていませんか。 →ゴミを捨ててください。 	12
	<ul style="list-style-type: none"> ● フィルターが外れていませんか。 →フィルターを確実にセットしてください。 	15
	<ul style="list-style-type: none"> ● フィルターが汚れていませんか。 →フィルターのお手入れをしてください。 	17

こんなとき	お調べいただくこと	参照ページ
吸引力が弱くなった	<ul style="list-style-type: none"> ●ダストカップがゴミでいっぱいになっていませんか。 ➔ゴミを捨ててください。 	12
	<ul style="list-style-type: none"> ●フィルターが汚れていませんか。 ➔フィルターのお手入れ、または交換してください。 	17・20
	<ul style="list-style-type: none"> ●フィルター外周とサイクロンカップの間に空気漏れがありませんか。 ➔フィルターの寿命です。フィルターセットを交換してください。 	20
	<ul style="list-style-type: none"> ●パワーブラシや回転ブラシに大きなゴミなどが詰まっていますか。 ➔ゴミなどを取り除いてください。 	18
	<ul style="list-style-type: none"> ●電池が少なくなっていますか。 ➔充電してください。 	9
回転ブラシが回らない	<ul style="list-style-type: none"> ●パワーブラシに大きなゴミが詰まっていたり、回転ブラシにゴミや糸くずが巻き付いていませんか。 ➔異物を取り除き、お手入れをしてください。 	18
	<ul style="list-style-type: none"> ●回転ブラシはパワーブラシにしっかり取り付けられていますか。 ➔正しくセットしてください。 	18
	<ul style="list-style-type: none"> ●パワーブラシが床から離れていませんか。 ➔パワーブラシを床に下ろしてください。パワーブラシが床から離れると、安全機能のはたらきにより、回転が停止します。 	6・11
排気口からゴミの臭いがする	<ul style="list-style-type: none"> ●臭いの強いゴミを集じんしたまま放置しておくと、運転直後にゴミの臭いがすることがあります。 ➔ゴミを捨て、お手入れをしてください。 	12・16
	<ul style="list-style-type: none"> ●フィルターが汚れていませんか。 ➔フィルターのお手入れまたは交換してください。 水洗いした場合は十分に乾かしてからご使用ください。 	17・20
ダストカップが本体に装着できない	<ul style="list-style-type: none"> ●フィルターが正しく取り付けられていますか。 ➔フィルターを確実にセットしてください。 	15


※上記解決方法を行っても症状が改善されない場合は、お客さまご相談窓口かお買い上げの販売店にご相談ください。
「お客さまご相談窓口」(23ページ)

消耗品

交換時期を目安に、破損・劣化してきたら交換してください。

※表の部品は消耗品です。保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

お買い求めは、お買い上げの販売店または当社「お客様ご相談窓口」にご相談ください。(23ページ)

部品名	品番	個数	交換時期の目安	希望小売価格
フィルター 	0530069419 (サービス扱い)	1個	お手入れをしても吸引力が弱くなってきたら交換してください。	1,100円(税込)

(希望小売価格は2022年6月現在)

製品(電池)の廃棄について

- 製品を廃棄する場合は、下記の手順に従って電池(ハンディボディに内蔵)を取り外し、端子部をビニールテープやセロハンテープなどで絶縁して、お買い上げの販売店、またはリサイクル協力店へお持ちください。

⚠危険

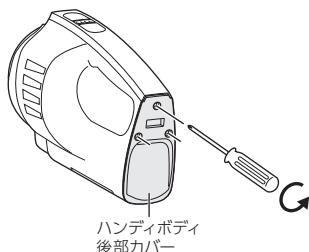
- 電池は、本機以外の機器に接続しないでください。また、電池を分解・改造・はんだ付けしたりしないでください。(漏液・発熱・破裂・発煙・発火・感電・けがの原因)
- 電池の端子同士を金属類で接続しないでください。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒を持ち運んだり保管しないでください。(液漏れ・発熱・発火・破裂の原因)

お願い

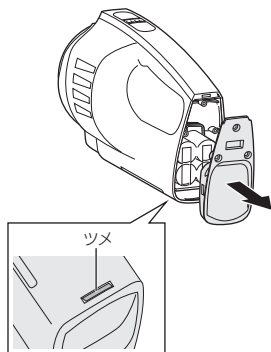
- 電池を本体から取り外すときは、必ず運転・充電を停止してから行ってください。運転中や充電中に取り外すと、故障・感電の原因となります。

電池(ハンディボディに内蔵)の取り外しかた

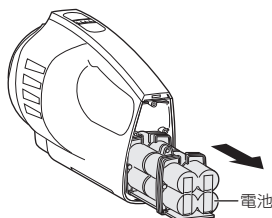
- 1 ハンディボディ後部カバーのネジ(3本)をドライバを使用して取り外す



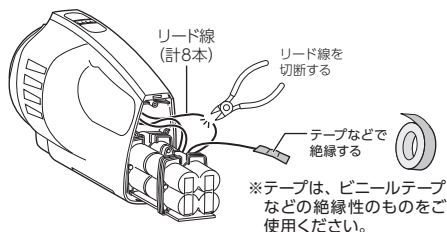
- 2 ハンディボディ後部カバーを取り外す
- 本体底部の穴にマイナスドライバーなどを押し込んで、ツメを外してください。



- 3 電池を引き出す
- リード線を切らないように、ゆっくり引き出してください。



- 4 最初にリード線(黒)を1本切断し、テープで絶縁する
- リード線は計8本あります。残りの7本も同様に1本ずつ切断と絶縁を繰り返して行ってください。
 - リード線は「黒」→「赤」→「白」の順で切断してください。
 - リード線をすべて絶縁したら、電池を取り出してください。



取り外した電池は買い上げの販売店、またはリサイクル協力店へお持ちください。

リサイクルへのご協力をお願い



Li-ion 20

リチウムイオン電池

- ハンディボディに内蔵されているバッテリーはリサイクル可能な貴重な資源です。これらの金属はリサイクルして再利用できます。また、再利用することは、ゴミを減らし、環境を守ることにもつながります。ご使用済みの電池は捨てないで、お買い上げの販売店または、最寄りのリサイクル協力店へお持ちください。

仕様

品番	AQC-ZX1N	
電源(ACアダプター)	入力：AC100-240V 50/60Hz 出力：DC30.0V 0.8A	
コード長さ(ACアダプター)	1.8m	
消費電力	約24W (本体充電時)	
電源方式	充電式 (バッテリー：リチウムイオン電池 25.9V)	
充電時間	約4時間	
連続運転時間	強：約20分 標準：約60分 (新品・満充電時)	
集じん容積	0.3L	
外形寸法	スティッククリーナー	幅 250 × 奥行き 170 × 高さ 1080 (mm)
	ハンディユニット	幅 105 × 奥行き 110 × 高さ 415 (mm)
	充電台	幅 270 × 奥行き 215 × 高さ 290 (mm)
質量	スティッククリーナー	2.6kg (ハンディユニット：1.3kg含む)
	充電台	0.7kg (ACアダプター含む)

※1…電池が初期状態・満充電で周辺温度 20℃ の場合。床面の種類・使用環境によって異なります。

※2…スティッククリーナーはハンディユニット・ハンドル部・本体・パワーブラシを含む合計質量です。

保証とアフターサービス

保証書 (取扱説明書裏面)

この商品には保証書がついています。お買い上げの販売店で発行しますので、保証書の「販売店・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日より1年間です。

補修用性能部品の保有期間

コードレススティッククリーナーの補修用性能部品の保有期間は、**製造打ち切り後 6年**です。

・補修用性能部品… その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理サービス

使用中に具合が悪くなったときは、「故障かな?と思ったとき」→19～20ページに従って調べてください。直らないときは、電池を本体から取り外し、ACアダプターを抜いてお買い上げの販売店にご相談ください。

- 保証期間中は、保証書の記載内容により販売店が修理いたします。
- 保証期間内であっても、お客さまの誤使用で故障した場合は、有料修理となります。
- 保証期間がすぎているときは、修理により機能が維持できる場合、お客さまのご要望により有料修理となります。

修理を依頼されるときは

保証期間をすぎてもご要望により有料で修理させていただきます。修理料金は、以下の内容で構成されています。

技術料	診断、修理、調整、点検などの費用です。
部品代	修理により使用した部品および補助材料代です。
出張費	ご依頼により技術者を派遣する費用です。

まずはお買い上げの販売店へご相談ください。販売店にご相談できない場合は、23ページの相談窓口にお問い合わせください。

お客さまご相談窓口

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ…

家電商品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。

転居や贈答品でお困りの場合は、下記のご相談窓口にお問い合わせください。

家電商品についての一般的なご相談

〈アクア株式会社〉

受付時間：(365日) 9:00~18:30

総合相談窓口

固定電話からは



0120-880-292

携帯電話・PHSからは



0570-040-292 (有料)

FAXでご相談される場合



0570-013-790 (有料)

家電商品の修理サービスについてのご相談

〈アクア株式会社〉

受付時間：月曜日～金曜日 9:00～18:30

土曜・日曜・祝日 9:00～17:30

修理相談窓口

固定電話からは



0120-778-292

携帯電話・PHSからは



0570-030-292 (有料)

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

<利用目的>

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のためにアクア株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

<業務委託の場合>

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理・監督をいたします。個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ <https://aqua-has.com/privacy/> をご覧ください。

長年ご使用のコードレス スティック クリーナーの点検を！

こんな症状は
ありませんか

- 運転ボタンを押しても、運転しない。
- ACアダプターやコードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- 運転中、ときどき止まる。
- 異常な音ができる。
- 本体や充電台が変形していたり、異常に熱い。
- こげくさい臭いがある。

ご使用
中止

このような症状のときは、故障や事故の防止のため、すぐに運転を停止し、ACアダプターをコンセントから抜き、必ず販売店へ点検・修理をご相談ください。

アクア 株式会社

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1丁目11番12号

ZX1N-MN01